



【学校教育目標】「人間性豊かな心もち 実践力のある生徒の育成」  
— 気付き、生かす —

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 16 号  
令和 3年 6月21日

## 2年「障がい者アスリート講座」を開催

校長 古市 直彦

6月16日（水）、千葉市の「障がい者アスリート学校訪問事業」の一貫として、千葉ホークスの選手4名とスタッフ6名が来校され、2年生に障がい者アスリート講座を開いてくださいました。

密を避けるため、3クラスずつの前後半に分けての実施となりましたが、車いすバスケット用車いすの特徴や乗り方、車いすバスケットの競技に関する説明を受けた後、実際の試乗体験をしました。ゲーム形式の実技披露を見た後には、選手と一緒にミニゲームも体験することができました。



前半の部の最後には、2学年生徒会長の\_\_\_\_\_さん（2-2）が、お礼の言葉として次のような感想を述べていました。

今日は障がい者アスリート講座ということで、お忙しい中、私達の学校に来てくださり、ありがとうございました。

私達は今日、競技体験や選手の皆さんとお話をして、パラリンピックスポーツの魅力を感じることができました。女子は初めての乗車体験でしたが、乗り方や進み方なども分かりやすく説明していただいたので、その後のミニゲームも楽しめたと思います。

実技披露の際には、2対2という形でしたが、ぶつかり合いなどが迫力があり、とてもかっこよかったです。シュートもあの高さから決められていて、本当にすごいなと改めて思いました。車いすバスケットを始めて、最初は大変だったこともあったと思いますが、それでもあきらめず、努力してきた選手の皆さんのようになりたいと思いました。私もあきらめず努力する姿を見習

って、これから頑張りたいです。

今日、このアスリート講座を通して、障がい者についての理解を深めることができたので、パラリンピックスポーツにあまり興味が無い人達にも、車いすバスケの魅力を伝えたいと思いました。それぐらい、今日は楽しく、勉強になりました。短い時間でたくさんを知ることができたので、とても充実した内容の濃い1時間になりました。選手の皆さんのおかげです。今日は本当にありがとうございました。



講座の修了後、帰り際に、司会をされていたスタッフの方が、私に次のように話しかけてくださいました。「こちらの問いかけに返事を返してくれる生徒さんが多いですね。ほかの学校では、あまり反応がない場合もあるのですが、とても素晴らしいです。こちらとしても、すごく、やりがいがありました。」 いろいろな意味で、実りの多い行事となりました。

## こんなメールが市教委に届きました

先日、たまたま本校の近くを通りかかったと思われる方から、千葉市教育委員会に次のようなメールが届いたそうで、本校にも連絡がありました。

突然のメール失礼します。

本日、若松中学校の生徒と思われる方が、素晴らしい行動をしていたことを目にしました。

ぜひ、その生徒及び若松中学校の先生方や保護者の方に知っていただきたく、メールいたしました。

本日（6月11日金曜日）の18時過ぎ、若松中学校近くの横断歩道をご老人がお一人で渡っていました。私はまさにその横断歩道のところで、車に乗って、その信号が変わるのを待っていました。その方は見るからに脚が悪そうで、杖をつきながらよたよたと歩いておられました。すると横断歩道半ばで信号が変わってしまったのです。

何とかしないと、車を降りようかと考えていたところ、その横断歩道を先に渡った若松中学校の生徒さんと思われる男子中学生が、そのお年寄りのところに駆け寄りました。

最初、手を引いて一緒に渡ろうとしていましたが、そのご老人がうまく歩けなかったのでしょうか。その男子中学生は、そのご老人をおぶろうとしたのです。

彼だけではありません。うまくおぶれなく、ヨロヨロとしていたところに、同じく若松中学校の生徒さんと思われる複数の方が駆け寄りようともしていました。

何とかご老人をおぶり、横断歩道を渡った彼に、路上から拍手が湧いていました。私も車の中で思わず拍手をしました。

声をかけてあげたかったのですが、後ろが詰まっていたためそのまま通り過ぎましたが、この感動をぜひお伝えしたいとメールしました。どうか関係の皆様の方へお伝え下さい。

よろしく申し上げます。



とっても嬉しいメールで、涙が出てきそうでした。よくぞ、気付いてくれました。よくぞ、すぐ行動に生かしてくれました。本校に誇らしいです。生徒指導主任（兼3学年主任）の丸山先生が、よく言っている「**若松プライド**」にも繋がる素晴らしい気付きと行動（生かし）です。次はどんなことに、気付き、生かすことができるか…。楽しみです。